

## 「地域づくり先進地視察交流会（県外コース）」

日時：平成28年11月5日（土） 会場：もりおか町屋物語館、いわて県民情報交流センター

### 1 岩手県地域づくり団体視察：もりおか町屋物語館

アクティブシニア委託団体関係者や県内教育事務所関係者等48名の参加で視察を行いました。特定非営利活動法人「いわてアートサポートセンター」理事長の坂田裕一氏から、「地域と共に歩む私たちの活動」というテーマで、NPO発足のきっかけ、組織状況、活動の種類、事業等についてお話をいただきました。震災を機に認識を新たにしたいという社会教育の重要性、地域づくりとそれを担う人材育成の大切さのお話からは、今後の青森県の活動に大きな示唆をいただきました。特に、「人材育成」と「コミュニティ形成」の視点を大切にしながら、事業に取り組んでいる姿は大変参考になるものでした。

【懐かしの賑わいに出会う館】

【坂田裕一理事長】

【人を育てつくるものでねば】



### 2 事例発表1：「元気なシニアを目指して」講師：シニアパワーいわて 理事長 高橋 善紀氏

会員がパソコンを使って連携を取りながら、在宅勤務という形を取り、リタイヤした後も長年職場において培ってきた知識や技能を社会に活かし、自身の健康管理と生きがいづくりをしている活動を紹介して下さいました。特に、「復興支援NPOなんでも無料相談会」では、震災をきっかけに、総務、労務、会計処理及び会計ソフトの操作方法、NPO新規設立などの相談に乗り、相談者の未来設計を大切にしながら、事業に取り組んでいる姿は大変参考になるものでした。参加者のアンケートからは、「地域づくりには経営感覚（スキル）やマネジメントは不可欠です。地元でも何とか実現したいです。」「このような事業が、実際にプロの手でNPOとして活動しているのがすごいです。すごく心強いですね。」「本日付けの岩手日報に、相談会の案内記事が掲載されていました。知識や経験のある方がたくさんいらっしゃるようで、組織としても十分機能されているのだなと感じました。」などの感想が寄せられました。

【高橋善紀理事長】

【熱心に聴き入る参加者】

【幅広い分野の地域振興について】



### 事例発表2：「若者と地域企業をつなぐインターンシップ」講師：wiz コーディネーター 八田 浩希氏

「若者と地域企業をつなぐインターンシップ」というテーマで、若者と岩手をキーワードに、地元で企業と若者とをつなぎながら、インターンシップを通して、地元で根付かせて雇用を確保し、人口減少を食い止めるといった「ホンキ」の事業内容を語って下さいました。特に、自分の力を試す場を求めて、自分で費用を負担して

企業に飛び込むといった熱い想いをを持った学生が、充実した時間を過ごすことで、表情や心情が変化していること、また関わる人皆が**実践型インターンシップ事業に本気で取り組んでいる姿**は大変参考になるものでした。参加者のアンケートからは、「若者のすごいパワーを感じ、目を覚ました。本気で取り組み、成果を出すという考え方は大賛成。今の地域活動は毎年同じような企画になっているが、何とかしたいと思っていたので参考になった。」「コーディネーター自身が若者なので、より若者の気持ちに接した関わりができて離職の歯止めにもつながる。」「地元を好きになってもらい、自らのモチベーションをあげる実践型インターンシップの取組が、岩手の将来を変える気がする。」などの感想が寄せられました。

【コーディネーター八田浩希氏】

【ホンキの取り組みに聴き入る】

【実践型インターンシップとは？】



### 事例発表3：「子どもの幸せ、親の幸せ、地域の幸せを目指して」

講師：いわて子育てネット 副理事長 両川 いずみ氏

「子どもの幸せ、親の幸せ、地域の幸せを目指して」というテーマで、「子育て支援はまちづくりそのもの」というお話をしていただきました。特に、「**機嫌の良い大人の元で育つことが大切**」という子育てへの配慮、**母親の動きを背中を見て育つ「おんぶ」の大切さ**、**産前産後の支援**、**子育て以外に多様な人材との交流・連携**に重きを置いて事業に取り組んでいる姿は大変参考になるものでした。

参加者のアンケートからは、「活動内容の多さに驚いた。我が妻も支援員をやっているが、是非今回の話を伝えたい。」「『心のよりどころ』は今の世の中には本当に必要な場所だ。詳しくお聞きしてみたい。」「行政だけではフォローできない分野を担っている。これからますます需要増、供給増が見込まれる。自団体の分析、立ち位置、スタンスも明確だ。」「自分自身、パパとして子育てに悩んでいる。こういった交流の場があることは大変ありがたい。若い人たちへの知恵を授けてほしい。」などの感想が寄せられました。

【両川いずみ副理事長】

【行政のフォローだけに頼らず】

【親子の居場所づくりのために】



### 3 交流タイム

【あおりり&いわて地域づくり交流会】

参加14団体の代表者から、活動内容の紹介をしていただいた後、講師の先生方や各教育事務所の方々も含めて自由に情報交換をしていただきました。時間を延長して対応しましたが、盛り上がりは冷めやらず、「もう少し交流の時間が欲しかった。」という意見が寄せられるほどでした。おかげさまで今回をもちましてアクティブシニアによる地域の未来応援事業「**地域づくり先進地視察交流会**」を無事に終わらせることができました。参加者の皆様、運営協力者の方々、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

